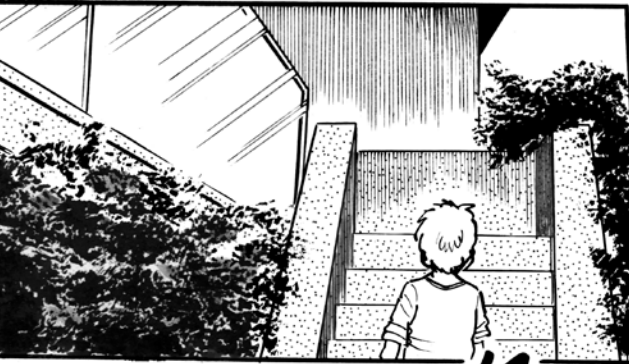
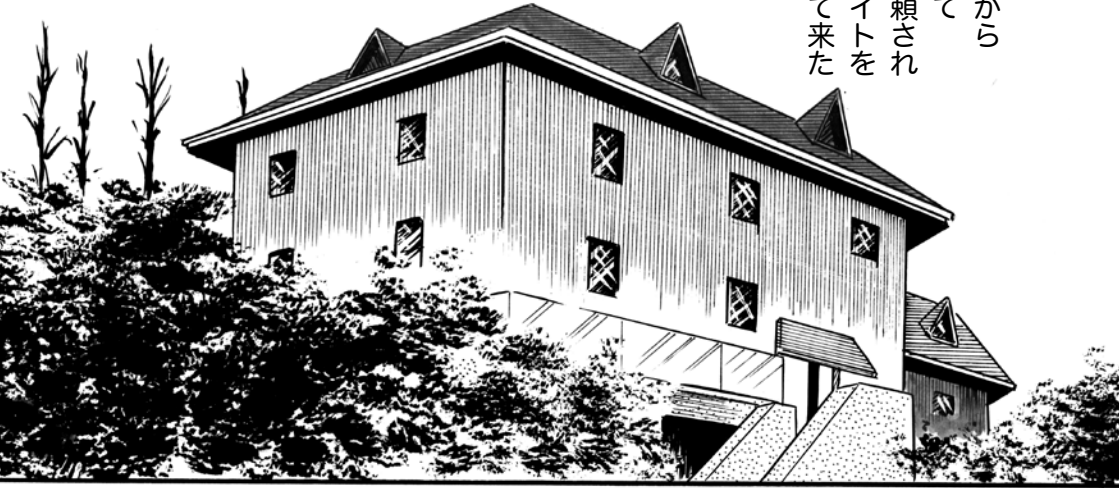


ボクはある老人から
あるモノを取って
きてほしいと依頼され
軽い気持ちでバイトを
引き受けてやって来た



この家は
依頼人が昔
住んでいたが
今は空き家
だった



カチッ

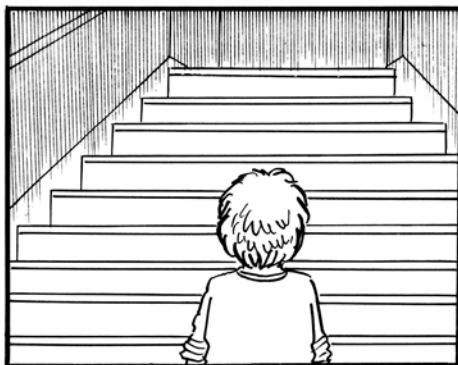
鍵も預かって
いた

ここだけの話ですが

バイト



たぐいあ



取ってくるモノは
二階の書斎に
あるとメモに
書いてあつた



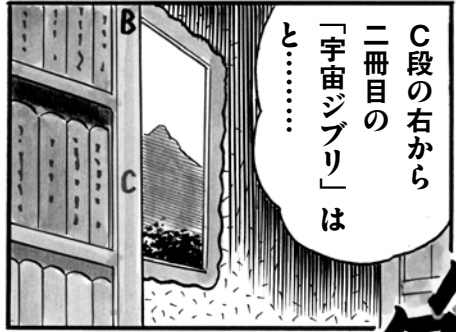
メモに書いてある本を探さないと



書齋はすぐに分かった



あつた



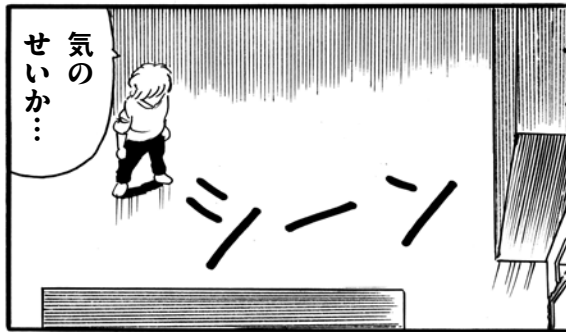
C段の右から二冊目の「宇宙ジブリ」はと……

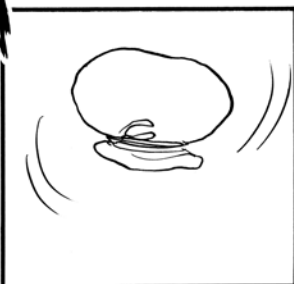


これが依頼されたモノだった



絵の後ろの隠し戸の小袋を取るようにメモに書かれていた





早くここかれ
立ち去れ
今日の事は
忘れる

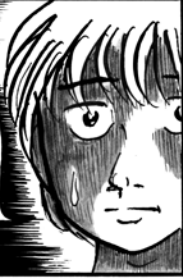
おまえは何も
知らずに
ここへ来たのか？

どうせバイト
稼いで来た
んだろ

命を落してまで
やる価値が
あるのかな？



あなたは
誰なの？



教えてやろう
俺はある実験で
こんな姿にされた
犠牲者なのさ

二度と元の
姿には戻れ
ない



だから帰れ
俺の事は
忘れろ
分かったな

分かった



それじゃ
帰ります



おい返さないで
始末しようぜ

だめだ
この青年を
逃がす!!

俺達の秘密が
バレちゃ
まずいぜ

いやこの青年は
話さないから
大丈夫だ

どうなって
るの?
二人の音が
するけど

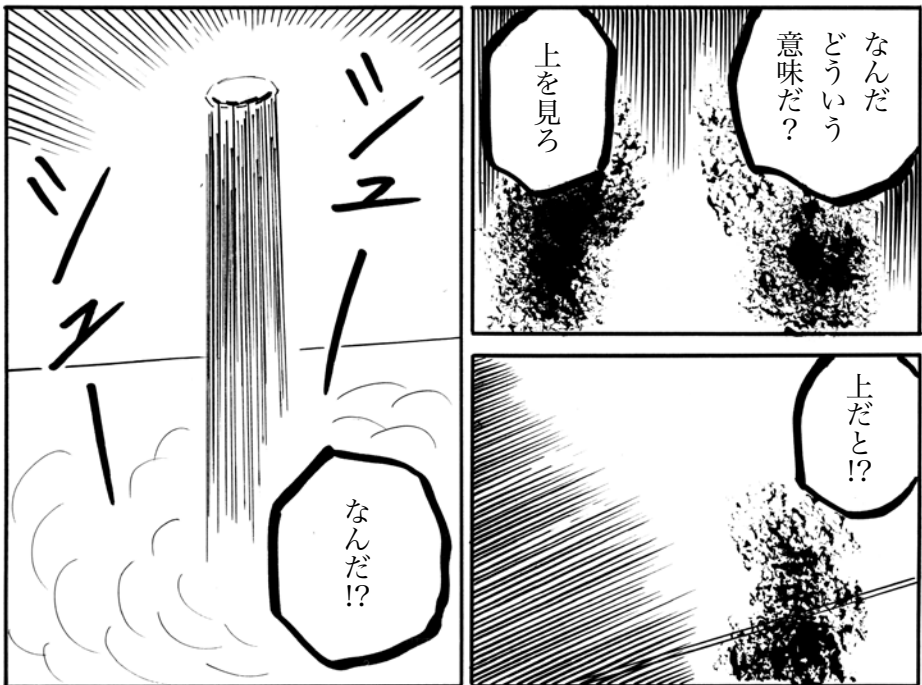
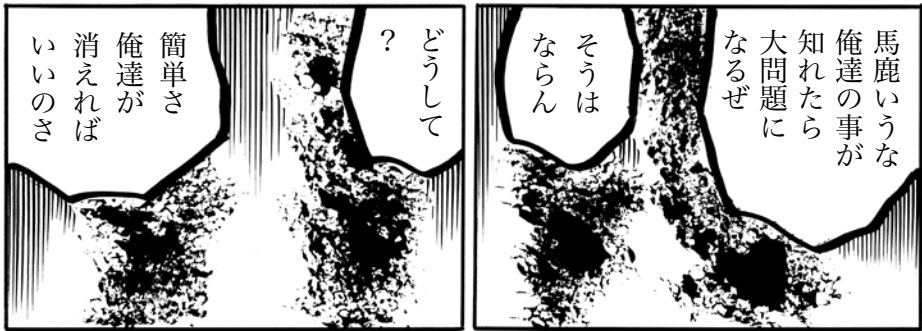
二つに
なった!?


始末
しようぜ

だめと
言ったら
だめだ


俺達の事が
バレたらまずい
だから始末するのが
簡単だぜ

これ以上
殺人を繰り返す
返す事はだめだ






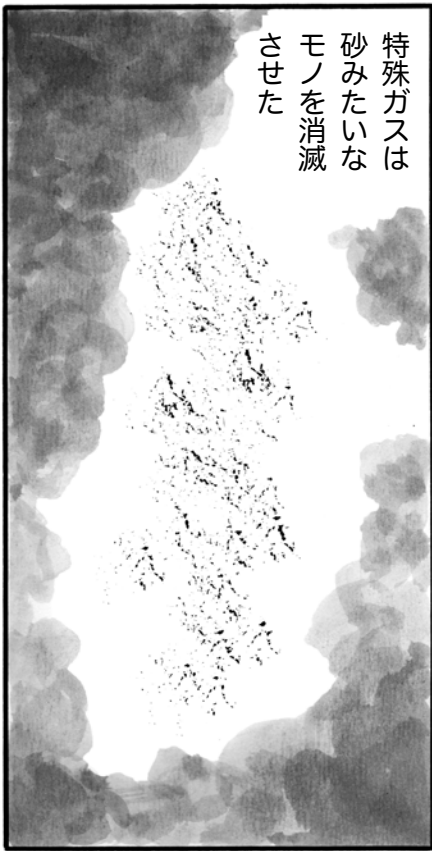
おい苦しくて
息が出来ない
このガスは何だ




俺が作った
特殊抹消ガスだ



これで二度と
犠牲者が
出ないだろう



特殊ガスは
砂みたいな
モノを消滅
させた



これじゃ
一百万円の
バイト代も
消えたか